

令和 6 年度
玉村町国際教育特区
フェリーチェ玉村国際小学校
学校評価結果表
E 票

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

I 法令事項に関すること

表 題	適○ 否×	備考
1 学級編制に関すること *1学級の児童数 *学年の編制	○	
2 教科用図書の無償給与に関すること *教科用図書の無償給与	○	
3 学校保健と学校安全に関すること *定期健康診断の実施 *疾病の予防措置や管理指導 *環境衛生検査 *学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の配置 *学校保健計画 *学校安全計画 *危険等発生時対処要領	○	
4 教育課程及び教材に関すること *学期及び休業日 *教育課程の編成 *教科用図書の使用状況	○	
5 校務分掌に関すること *校務分掌の仕組み	○	
6 学校評価に関すること *法に基づいた学校評価の実施	○	
7 教職員に関すること *校長、教諭、養護教諭(看護師)及び事務職員の配置 *免許状 *校長の資格 *教諭の配置状況	○	教職員の不祥事防止に向けて、服務規律の徹底など継続した取組を求める。

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

I 法令事項に関すること

表 題	適○ 否×	備考
8 学校設置会社の業務及び財産の状況の公開に関すること * 業務及び財産の状況の閲覧にかかる準備	○	
9 いじめ防止に関すること * 学校いじめ防止基本方針の策定 * いじめ防止等対策のための組織の設置	○	
10 表簿に関すること * 学校に備えておくべき表簿	○	

Ⅱ 教育内容等**【評価基準】****評価A 「優れた取組が行われている」**

特色ある優れた取組が行われ、教育効果を上げている。

または今後、教育効果が期待される。

評価B 「適切な取組が行われている」

適切な取組が行われ、通常求められる学校運営が実施されている。

評価C 「取組の改善が求められる」

取組に課題があり、早急に改善が求められる。

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 11		教育課程に関すること	
No.	評 価 項 目		評 定
1	学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解に努めているか。		A
2	児童の学力・体力の状況を把握し、それを指導に活かそうと努めているか。		B
3	体験活動、学校行事などの実施にあたり、どのように取り組んでいるのか。適切な指導・管理体制の下に実施されているか。		B
4	各教科の年間指導計画が、学習指導要領に則り作成されているか。		B
総 評	英語バイリンガル教育の充実を図っており、学校独自の外国語・外国語活動の教育課程を編成することで、全学年で週5～6時間の英語授業を実施している。その他に、生活科と総合的な学習の時間の指導も英語で実施している。また、英語力育成のためには日本語の力を高める必要があるということから、日本語による国語・算数の学習にも力点を置いている。これらの教育活動については、学校の教育目標や日本の学習指導要領に則って計画しているほか、日本人と外国人の教職員が共に会議や相互の授業参観を通して日常的に共通理解を図っている。		

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 12		学習指導に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	学習指導要領に則り、児童の発達段階に即した指導がなされているか。	B	
2	体験的な学習や問題解決的な学習および、児童の興味関心を生かした自主的・自発的な学習が適切に行われるよう努めているか。	B	
3	学級内における児童の様子把握や、学習に適した環境の整備など、学級経営が適切に行われているか。	A	
4	各教科で教科書とともに使用される英語版の資料は、学習指導要領に則った適切なものか。	B	
総 評	学習指導要領に則り、本校に通う児童や日本の教育の実態に合わせた学習指導を行っている。英語指導では児童の年齢に合わせたアメリカの教科書を用いており、児童の過重な負担にならないよう配慮しながら適正な指導を行っている。また、フェリーチェ英語フェスティバル、運動会、クリスマス発表会等、学習したことを発揮できる学校行事も積極的に行っている。また、食堂や体育館、中庭、図書室といった学校の環境を活用し、児童が多様な活動を行えるよう工夫している。		

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 13		児童指導に関すること	
No.	評 価 項 目		評 定
1	全職員が児童指導に取り組めるように、体制が整備されているか。		A
2	保護者や地域社会、関係機関等と連携協力が図られているか。		A
3	自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるよう、適切な指導に努めているか。		B
4	保護者と連携・協力して、基本的な生活習慣が身につけられるよう努めているか。		B
5	学校生活全体を通し、豊かな人間関係づくりに努めているか。		B
6	命の大切さや環境の保全、社会の一員としての意識(公平・公正、勤労、奉仕、公共心、公聴心や情報モラル等)や、規範意識の向上に努めているか。		A
7	いじめ防止基本方針に基づいた取組が計画的に行われているか。		B
総 評		Bibleの時間を中心に児童の道徳心の育成を図っている。また、児童指導について、毎月各種会議で職員間の共通理解を図っている。さらに、毎月の「なかよしアンケート」を実施し、児童の状況について把握している。保護者に対しては新年度説明会を実施して学校の方針等を直接伝えている他、家庭でのお手伝いを促すなど学校と家庭で連携して児童を育てる工夫をしている。	

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 14		教職員研修に関すること	
No.	評 価 項 目		評 定
1	校内、校外における研究・研修等を通じて教職員の資質・能力向上についての取り組みがなされているか。		A
2	教職員の自主的な研究・研修等についての支援体制が整っているか。		B
総 評	これまで育成してきた児童の表現力を生かし、「主体的に学びに向かい、表現できる児童の育成～数学的活動の工夫を通して～」をテーマに設定し、特に問題解決や練り上げの場面に焦点を当てて授業改善を行った。共通のテーマを基に職員同士が忌憚のない意見交換を行うことで、指導力の向上を図っている。		

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 15		学校保健に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	定期健康診断等の結果が適切な管理の下、必要に応じ迅速に取り出せる状況にあるか。また、児童の健康状態の把握等が適正に行われる状況であるか。	B
2	スポーツ振興センター災害共済給付への加入等学校管理下での災害に対応する環境が整っているか。	B
3	怪我、病気、アレルギー等の児童の緊急時に適切な対応をするため、マニュアル等を作成しているか。	A
4	感染症の予防に対し、学校保健安全法に基づく出席停止等の適切な対応ができる体制が整っているか。	B
5	環境衛生における緊急時(異物混入、化学物質の発生等)の検査体制が担保されているか。	B
総 評	コロナ対応の保健衛生マニュアルを見直して、新たに「保健室経営計画」を作成し、保健に関わる各種対応をまとめて確認できるようにした。最寄りの医療機関も一覧で記載されており、児童への緊急対応がスムーズにできるようになっている。熱中症対応については養護教諭を中心に警戒アラートを確認したり熱中症指数計で状況をこまめに把握したりし、教職員や児童に周知できる体制を整えている。	

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 16		学校安全に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	児童の通学方法・通学経路について、どのように確認を行っているか。	B
2	登下校時の児童の安全対策として、どのような取組を行っているか。	B
3	災害発生時や事件発生時等、緊急時の登下校の安全対策を、どのように講じているか。	B
4	遠距離通学者(電車による通学等)に対して、特別な安全対策を講じているか。	A
5	交通安全や災害発生時の安全に関する指導(避難訓練、交通安全教育等)が適切に行われているか。	A
6	学校施設・設備について安全点検が適切に行われているか。	B
7	災害発生時や事件発生時等における児童の安全確保の対策及び危険発生時に対処するための職員の訓練等をどのように講じているか。	B
総 評	登下校時の安全対策を充実させている。自力で遠距離通学する児童に対して、児童単独での電車通学を4年生以上に限定し、連絡用の携帯電話所持を許可するようにしている。また、スクールバスには置き去り防止装置を設置し、児童に対して使い方の訓練を行っている。自動車送迎時の安全確保のために駐車場のアスファルト整備も進めた。	

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 17		学校評価の実施状況に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	学校評価の項目は適切か。	B	
2	学校評価が年に1回以上定期的に実施されているか。	B	
3	学校評価の結果を、翌年度の指導目標等の改善に活用しているか。	B	
4	アンケート等を実施し、学校評価を行う上での参考としているか。	B	
5	学校評価の結果を保護者等に公開しているか。	A	
総 評	学校評価は文部科学省や玉村町の学校のものを参考に、「連携」「確かな学力」「豊かな心」「健康体力」「安全確保」「進路・生き方」の領域を設定している。教職員、保護者、児童を対象に年に2回アンケートを実施し、アンケート結果を基に職員で学校運営の改善策を話し合い、それらについて学校だよりで保護者に周知している。PDCAサイクルを意識した適切な学校評価が行われている。		

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 18		情報公開・個人情報の保護に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	学校に関する情報について、学校便りや学級便りの発行などをおして、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか。	B	
2	情報公開手段として、ホームページを活用するなどの工夫がなされているか。	A	
3	「学校における生徒等に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針」(文部科学省告示第161号)を参考に、児童等の個人情報の保護に配慮しているか。	A	
4			
5			
6			
7			
総 評	個人情報の扱いについては、取扱指針の整備、安全なコンピューターシステムの構築、適切に運用するための職員の研修等、その管理・保護の十分配慮を行っている。そういった配慮を行った上で、学校生活の様子や学校の運営方針等を保護者・地域に伝えられるよう、ホームページのこまめな更新を行ったり、学校だより等での連絡を行ったりと、積極的な情報公開をしている。個人情報の扱いについては、社会のデジタル環境の変化に伴って、今後も適宜見直していくようにするとよい。		

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

表 題 19		構造改革特別区域計画に関すること	
No.	評 価 項 目		評 定
1	英語による授業に児童が対応できるよう配慮がなされるとともに、児童の実態に応じて適切に指導が行われているか。		A
2	特区計画における英語科の設置及び英語イマージョン教育を実践するための指導計画が作成されており、それに基づく指導が行われているか。		A
3	児童の英語に関する到達度を計画的に把握するとともに、指導と評価が一体化した授業が行われているか。		A
4			
5			
6			
7			
総 評		英語指導については本校の最も重点を置いているところであり、他の表題の項目でも述べたように、児童が英語を用いたコミュニケーションの中で成長できるよう、様々な指導の工夫がなされている。1クラス20人の通常学級での手厚い指導に加えて、英語力に課題のある児童には個別の補充学習を実施している。また、授業では対話的、問題解決的な学習で児童の思考力を育てているほか、各種学習アプリも積極的に活用して児童が自分で学習に取り組めるようにもしている。日本人教師と外国人教師が連携しながら、学校全体で児童が英語を用いて資質・能力を伸ばせるように工夫されている。	

令和6年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和6年10月 玉村町作成

Ⅲ 経営に関すること

評 価 結 果

平成27年4月に会社法人立フェリーチェ玉村国際小学校として開校した当校は9年が経過した。学年ごとに順次2クラス化を進めてきていたが、今年度より全学年が2クラス編成となった。今までのように毎年クラス数が増えて児童数が増える事業成長段階を経て、当校は今や成熟期へと至った段階であると考えられる。

前期の財務分析からは当校の財務状況は安定していることが認められる。営業キャッシュフローの減価償却費相当額は財務キャッシュフローの返済に当てられ、新たな投資キャッシュフローは当面発生しないため、財務面の現状は安定している。今後も同様に安定した経営環境が期待されるが、当校の強みを維持、強化する上では、成熟期におけるさらなる経営基盤の強化が求められる。具体的な施策としては生徒募集のためのマーケティング活動への取組、学校法人化への取組等が想定されるが、それらの取組を通して経営基盤の強化を図っていただきたい。